
株式会社フィスコ

2009年12月期 決算短信補足説明資料

2010年2月12日

当期の主な取組み

1. **損益分岐点の引き下げに注力(前年同期比362百万円減)**
 - ・ 費用負担が大きい連結子会社の売却効果(前年同期比176百万円減)
 - ・ 販管費の削減効果(人件費、減価償却費、システム維持費など)
(前年同期比173百万円減)
2. **顧客ニーズの特性を重視した組織再編により、ポータルサービスにてページビューが首位獲得(当該サービスにおける情報提供会社比較)**
3. **シグマ社を当社所在地に移転し、経費削減を実施(2009年6月)**
 - ・ 当期の削減効果(6月～12月分): 8百万円減
 - ・ 翌期以降の削減効果(年間) : 16百万円減
4. **新情報配信システムの稼動(2009年11月)**

執筆担当者の配信時における作業負荷を軽減し、サービスの質と量を向上

連結損益計算書 主要項目(前年同期比)

(単位:百万円)

	2009年12月期		2008年12月期		増減	増減率
	対売上比		対売上比			
売上高	1,033	-	1,244	-	△210	-16.9%
売上原価	364	35.2%	439	35.3%	△74	-17.0%
売上総利益	668	64.7%	804	64.6%	△135	-16.9%
販売管理費	664	64.3%	952	76.5%	△288	-30.3%
営業利益	4	0.4%	△147	-11.8%	152	-
経常利益	△4	-0.4%	△236	-19.0%	232	-
当期純利益	△15	-1.5%	△613	-49.3%	597	-

連結損益計算書 主要項目増減要因(前年同期比)

1. セグメント別収益増減要因

① 情報サービス事業 $\Delta 134$ 百万円(前年同期比: $\Delta 13.6\%$)

<主な増収要因>

- i. アウトソーシングサービス $+ 10$ 百万円(+5.2%)
 - ・FX(外国為替証拠金取引)情報の需要増、取引業者向け提供拡大。
- ii. 携帯向け「フィスコ モバイル」 $+ 7$ 百万円(+178.5%)
 - ・昨年7月よりサービス提供開始。有料会員数が増加。
- iii. 金融雑誌等への寄稿 $+ 4$ 百万円(+27.5%)
 - ・投資情報誌『ダイヤモンド「株」データブック』(四半期毎発行)への寄稿。

<主な減収要因>

- i. リアルタイムサービス $\Delta 81$ 百万円(-15.2%)
 - ・提供先である金融機関のコスト削減による散発的な解約が影響。
- ii. クラブフィスコ(LaQoo+含む) $\Delta 58$ 百万円(-41.6%)
 - ・個人投資家の投資意欲減退。新規公開企業(IPO)数の減少も影響。

連結損益計算書 主要項目増減要因(前年同期比)

② コンサルティング事業 $\Delta 53$ 百万円 (前年同期比 $\Delta 68.1\%$)

<主な増減要因>

- i. 連結子会社2社除外 $\Delta 60$ 百万円 (-)
 - ・本業集中を図り、前連結会計年度において2社連結除外。
- ii. 「RASHINBAN(金融情報誌)」 $+ 4$ 百万円 (+100%)
 - ・昨年5月にサービス提供開始。提供先拡大に向け営業注力するも難航続く。

③ 教育事業 $\Delta 22$ 百万円 (前年同期比: $\Delta 12.6\%$)

<主な増減要因>

- i. シグマベイスキャピタル社 $\Delta 10$ 百万円 ($\Delta 6.4\%$)
 - ・金融機関等の経費削減、外資系投資銀行等の採用抑制により、低迷。
- ii. 社内教育研修(フィスコ) $\Delta 4$ 百万円 (-72.0%)
 - ・上記同様、金融機関における社員教育が受注減少。

連結損益計算書 主要項目増減要因(前年同期比)

2. 主な増益要因〈営業損益ベース〉

① 売上原価の減少 △74百万円(前年同期比-17.0%)

i. 連結子会社2社除外による影響 △ 61百万円

② 販売管理費の減少 △288百万円(前年同期比-30.3%)

i. 連結子会社2社除外による影響 △115百万円

ii. 前期減損実施による償却負担減少 △ 40百万円

iii. 2社(フィスコ/フィスコプレイス社)の合理化による経費削減 △ 65百万円

<ul style="list-style-type: none"> ・人件費の抑制 ・ECサイトを中心としたシステム維持費の削減 	<ul style="list-style-type: none"> △ 34百万円 △ 30百万円
---	--

連結損益計算書 主要項目増減要因

3. 特別損益に関する概要

① 特別利益の計上	13百万円
i. シグマ社の持分変動に係る利益	8百万円
ii. シグマ社の保有有価証券売却益	2百万円
iii. フィスコ コモディティー株式の売却益	1百万円
② 特別損失の計上	21百万円
i. シグマ社保有の有価証券評価減	7百万円
ii. フィスコ/シグマ社の保有有価証券売却損	7百万円
iii. シグマ社移転における現状復帰費用	5百万円
iv. シグマ社移転等に係る固定資産の除却損	2百万円

連結貸借対照書 主要項目(前期末比)

科目	当期末 2009年12月31日		前期末 2008年12月31日		増減
	(百万円)	構成比	(百万円)	構成比	
(資産の部)					
流動資産	508	62.3%	528	61.1%	△ 20
固定資産	308	37.7%	336	38.9%	△ 28
1. 有形固定資産	55	6.9%	48	5.6%	7
2. 無形固定資産(ソフト等)	34	4.2%	18	2.1%	16
3. 投資その他の資産	217	26.7%	269	31.2%	△ 51
繰延資産	0	0.0%	0	0.0%	0
資産合計	816	100.0%	864	100.0%	△ 48
(負債の部)					
流動負債	174	21.4%	213	24.7%	△ 38
固定負債	184	22.6%	186	21.6%	△ 2
負債合計	358	44.0%	399	46.2%	△ 40
(純資産の部)					
資本金	748	91.6%	748	86.5%	0
資本剰余金	402	49.3%	402	46.6%	0
利益剰余金	△ 641	△ 79%	△ 626	△ 72.4%	△ 15
自己株式	△ 43	△ 5.3%	△ 43	△ 5.0%	0
評価・換算差額等	△ 8	△ 1.1%	△ 16	△ 1.9%	7
純資産合計	457	56.0%	465	53.8%	△ 7
負債純資産合計	816	100.0%	864	100.0%	△ 48

連結貸借対照表 主要項目変動要因(前期末比)

1. 資産の部 主な変動要因

① 現預金	+5百万円
・フィスコ新規借入	(+ 80百万円)
・有価証券売却収入	(+ 34百万円)
・フィスコ/シグマ社借入金返済	(△106百万円)
・新規入力配信システム「BIRD」	(△ 24百万円)
・「BIRD」に係るサーバー等設備投資	(△23百万円)
② 投資有価証券	△30百万円
・シグマ社有価証券の売却	(△25百万円)
③ 差入保証金	△24百万円
・シグマ社旧事務所に係る敷金の減少	(△18百万円)
・フィスコ助言代理業の廃止	(△5百万円)

連結貸借対照表 主要項目変動要因(前期末比)

2. 負債の部 主な変動要因

① 借入金返済(短期・長期)	△26百万円
・フィスコ新規借入	(+ 80百万円)
・フィスコ/シグマ社借入金返済	(△106百万円)

3. 純資産の部 主な変動要因

① 利益剰余金	△15百万円
・当期純損失の計上	(△15百万円)
② その他有価証券評価差額金	+8百万円
・投資有価証券売却に伴う損失が実現	(+9百万円)